

氏 名 郷 間 英 世



所 属 ・ 職 名 教育実践開発講座・教授
(特別支援教育分野)

研究室電話番号 0742-27-9252
(ダイヤルイン・FAX 兼用)

電子メールアドレス goma@nara-edu.ac.jp

最終学歴及び学位 京都大学文学部哲学科卒(1976), 京都府立医科大学医学部卒(1983)
博士(医学)(京都府立医科大学 1992)

所 属 学 会 等 日本小児神経学会, 日本小児科学会, 日本小児保健学会, 日本特殊教育学会,
日本重症心身障害学会, 日本発達障害学会

専 門 分 野 障害児医学, 小児神経学

研究と教育について

研究のテーマは, 現代の子どもの発達の特徴やそのアンバランスさについて, 昔の子どもとの比較, 子どもの生活習慣の調査, 子どもの絵の特徴などをもとに検討している。障害児・者のクオリティ オブ ライフ (quality of life, QOL, 生活の質, 生命の質) について, 障害を持つ人も持たない人も QOL は同じであるという立場から研究している。慢性疾患児や入院している子どものもつストレスやケアのあり方について検討している等です。

教育では, できるだけ自分の臨床や研究の中で経験したことを伝えていきたいと考えています。

主 な 研 究 業 績

- ・頸動脈結紮による虚血負荷を与えた幼弱仔犬の神経病理学的検討, 脳室周囲白質軟化の動物モデルとしての有効性について, 日本小児科学会雑誌, 96, 1813-21, 1992
- ・重症心身障害児の QOL 評価の試み - 子どもを亡くした親へのインタビューによる検討 -, 日本保健医療行動科学会年報, 16, 211-24, 2001
- ・小児の心理, 知能, 情緒, 社会性の発達とその保健, 沢田淳編「最新小児保健」, 日本小児医事出版社, 107-134, 2003
- ・現代の子どもの発達の特徴についての研究 - 1983 年年および 2001 年の K 式発達検査の標準化データによる検討 -, 子ども学, 第 5 号, 11-22, 2003
- ・微笑行動を手がかりとした重症心身障害児の QOL 評価に関する検討 奈良教育大学教育実践総合センター研究紀要, No 14, 29-35, 2005

主な授業担当科目

障害児医学, 障害児保健学(2 回生), 障害児医学演習(3 回生)

特別専攻科: 情緒障害児病理学, 障害児医学演習など

大 学 院: 発達障害医学特論, 特別支援教育演習 (障害児医学演習)

学 会 活 動 日本小児科学会認定医, 日本小児神経学会専門医, 小児神経学会社会活動広報委員, 日本重症心身障害学会評議員

社 会 的 活 動 京都府立向日丘養護学校小児神経相談医, 豊中市教育委員会障害児教育推進協議会・特別支援教育推進協議会委員, 京都府教育委員会特別支援教育体制推進事業地域支援巡回相談員, 知的障害者授産施設「京都市のぞみ学園」・「京都市横大路学園」嘱託医, 知的障害者雇用施設「京都市横大路福祉工場」嘱託医, 社会福祉法人「乙訓ひまわり園」運営委員・第三者委員, 済生会京都府病院非常勤医師(小児神経) など

講 演 の テ ー マ 「子どもの発達と障害」, 「障害児・者の QOL」